

## 編集後記

巻頭論文執筆の田中岬は、古くて新しい人です。田中は 22 年前、北海道教育大学大学院に在学していました。そして私（鹿内）の授業を受講していました。その授業のテーマが「看図作文」でした。大学院授業の成果として、看図作文に関する論文を私との共著で発表までしています。田中は、看図作文・看図アプローチ研究のパイオニアのひとりなのですが、以後 22 年間、看図の世界から遠ざかっていました。その田中が 22 年ぶりに戻ってきてくれました。しかも、アイデアあふれる看図アプローチ実践を立て続けにしてくれています。今号論文は、帰ってきた田中の看図アプローチ実践第 1 報です。

「全国看図アプローチ研究会」に、またひとり優れた実践家が加わりました。今号第 2 論文執筆の村山信子です。今回は、同僚の久保田睦子との共著になっています。本研究会には、たくさんのアイデアウーマン・アイデアマンがそろっています。村山もそのひとりです。村山は看図アプローチの諸文献を確実に咀嚼し理解しています。そして、理解したことを応用・発展させていく力をもっています。村山と直接話していると、ここちよいパワーが伝わってきます。アイデアもどんどん広がっています。これからたくさんの実践論文が生まれてくると思います。今号掲載論文も「現場に届けたい」内容になっています。

第 3 論文執筆は森寛です。今回は、前号に引き続いての執筆になります。森は看図作文研究にはなくてはならない人です。今号では、豊富な看図作文実践に支えられた「看図作文授業入門」をまとめてくれました。森は、いつも完成度の高い論文を投稿してくれます。今回も、論文受付→編集委員会による閲読→論文受理→組版→校正、の作業がわずか 1 日で完了しました。それくらい完成度が高い論文です。ぜひ一読してみてください。

また、スピード感をもって論文の DTP をしてくれる本誌編集長の石田ゆきにも多謝です。

文責 鹿内信善

---

全国看図アプローチ研究会研究誌 14 号

---

発行年月日 2022 年 8 月 29 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員

石田 ゆき

伊藤 公紀

鹿内 信善 \*

山下雅佳実

渡辺 聰

(\* 印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会



kanzu-approach.com

事務局長 山下雅佳実(中村学園大学短期大学部)

編集長・DTP 石田ゆき